

仕様書

高度救命処置用資機材

令和 7 年 度

交 野 市

〈1〉 総 則

1. 目的

本仕様書は、交野市消防本部（以下「当本部」という。）が令和7年度に購入する災害対応特殊救急自動車（以下「救急車」という。）用の高度救命用資機材（以下「資機材」という。）について必要事項を定め、取り付けおよび設置工事一切に適用する。

2. 医療用具としての承認と適正

当本部が購入する資機材は、医療用具として十分な性能を有し、法的な許認可若しくは承認を得たものであること。また、救急車に装備並びに積載し、緊急走行を行った状態において十分な耐久性を有するとともに、安全確実に活用できるものであること。

3. 資機材の規格

資機材は、すべて新規製品で十分な性能及び安定度を有し、耐久性に優れたものであるとともに、関係機関が行う認定、検定及び検査を必要とするものについては、それに合格し承認を得たものであること。

4. 資機材の取り付け

（1）当本部指示のもとに救急車に取り付ける資機材は、取り付けおよび設置に必要な金具等を当本部の指示に基づき納入送付すること。また、取り付けおよび設置にかかる技術的な情報を提供すること。それに伴う経費については納入契約者が負担すること。（必要に応じて技術員の派遣も考慮すること。）（車両間の移設に伴う工事についても同様とする。）

（2）取り付けおよび設置後に発生する調整等は、納入契約者が実施すること。それに伴う調整費については納入契約者が負担すること。また、当本部の指示により、資機材の各操作および取り扱いについて専門係員を派遣し、指導を行うものとする。

5. 契約

（1）契約にあたっては、本仕様書を了承し、不明な点は当本部に質問し十分熟知の上契約するものとし、契約以後の質疑等については当本部の解釈または判断に従うものとする。

（2）納入にあたっては、受注者立ち会いのもと、医療機器または医療用具の販売に係る所定の許可を得た者を立ち会わせ、関係法令に基づく手続き及び取り扱いに関する十分な説明を行うものとする。

（3）本仕様書で指定する救急資機材について、本仕様書が提示された時期の前後にかかわらず、その救急資機材に有用な変更又は改良が加えられ、若しくは新機種及び後継機種が製造元から発表された場合には、その内容を当本部に遅滞無く連絡し、当本部担当者の指示どおりに納入すること。

6. 検査

仕様書、取扱説明書等により当本部係員立会いの上検査を行う。

- (1) 本件と並行して調達を予定している救急車と同時に納入検査を行う。
- (2) 検査日程は事前に当本部と救急車納入業者に連絡し調整を図ること。
- (3) 納入検査は、納入期限までに補修・調整ができるよう余裕をもつこと。

7. 保証

保証期間は、納入後1年とする。但し、メーカーの保証期間がそれ以上の場合はその期間とする。なお、構造上(部品・材料の不良を含む)あるいは、技術上の不備、欠陥による場合は、保証期間が経過しても納入業者の責任において速やかに対処するものとする。

8. 納入する資機材

納入する資機材の規格及び数量は、(別紙1)仕様及び数量一覧のとおりとする。

9. 納入期限等

- (1) 納期は、令和8年1月31日とする。
- (2) 納入場所は、当本部とする。

10. 補則

- (1) 設計・制作・材料等について、特許その他権利上の問題が生じた時は、納入者がその責任を負うこと。
- (2) 諸種の理由により本仕様書に変更を必要とする時、あるいは疑義が生じた時は、直ちに当本部に連絡の上、綿密に協議し当本部の指示に従うものとする。
- (3) 本仕様書に記載がない部分等については、当本部と協議の上、決定する。
- (4) 受注者は、救急車の艤装段階において、車体に固定する必要がある物品を救急車納入業者へ事前に支給すること。なお、事前支給に関する一切の費用は受注者が負担するものとする。
- (5) 受注者は、救急車に搭載する資機材について、取り扱い上の支障がないよう、架台の取り付け等について、救急車納入業者と十分に打合わせを行うこと。(救急車の仕様上で架台等の設定が無い場合は、救急車納入業者に製作させ、費用は受注者が負担すること。)
- (6) 受注者は、当本部の職員に対し、資機材の取り扱い説明を充分に実施すること。なお、説明員の派遣に関する一切の諸経費は受注者が負担するものとする。
- (7) 受注者は、使用期限が定められている物品については、製造後1か月以内の物品を納入すること。